

赤坂中学校教育目標

- ・「まなび」を大切にする
- ・「まなび」を大切にする
- ・「いのち」を大切にする
- ・「ころ」を大切にする
- ・「とき」を大切にする

「努力は報われないのか」

校長 高松 政則

北京オリンピックも17日間の熱戦に幕が下りました。今大会で日本勢が獲得したメダルは金3、銀6、銅9の計18個、冬季では1998年長野大会の10個を超えて最多となった前回の平昌オリンピック(13個)をさらに上回る活躍を見せてくれました。メダルに手が届かなかった選手もいますが、素晴らしい競技を見せてくれました。

さて、そんな選手たちの競技終了後のインタビューの中で、フィギュアスケートの羽生結弦選手の発した「努力って報われないなあと思いました」という言葉が心に残りました。

前回の平昌オリンピックで銅メダルに輝いた男子モーグルの原大智選手は、本番前はメダル候補にも挙がっていない選手でしたが、メダルを取った際に話した言葉が「努力は我慢して、我慢して、我慢して報われるということが、今回、本当に身に染みたので、皆さんも努力を続けてください」という言葉でした。辛く苦しい練習を続けてきてよかったという思いから湧き出る彼の心からの声だと感じましたが、今回の羽生選手とは正反対の言葉です。私たちが生徒に対して「努力は必ず報われる」と話をします。しかし今回の羽生選手の言葉を聞く中で、そうは言うものの必ずしも報われると言い切れず、実際にはどんなに努力しても夢が叶わない人もいます。むしろ、叶わない人の方が多くいるかもしれません。しかし私たちの想像もつかないたくさんの努力をしたことで、回転不足で完全な形での成功とはならなかったものの、前人未到の4回転半ジャンプが最高難度のジャンプとして認定されたことは、目標としていた金メダルではありませんでしたが、決して無駄な努力ではありませんでした。努力をしたからこそ今があり、果敢に挑戦する姿が人々に感動を与えたのだと思っています。

さて、今年度もまとめの時期がやってきました。一年間、保護者・地域の皆様には多方面から学校を支えていただきましたことに心から感謝申し上げます。おかげをもちまして生徒たちは、大きな事故や怪我もなく元気に勉強やスポーツ、学校行事に取り組むことができました。学校運営へのご理解・ご協力ありがとうございました。

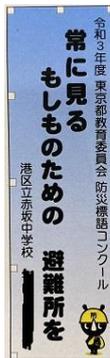
今月は赤坂中学校の代表として様々な場面で活躍してくれた3年生を送る、年度末の最大行事「卒業式」があります。いつも心優しく後輩思いで、校内の行事等では常にリーダーシップを発揮してくれました。下級生にとってはとても頼もしく、頼りがいのある憧れの先輩たちでした。3年間仮設校舎で過ごすことが分かっていたながら入学してくれてきた3年生に、たくさんの思い出を残してあげられなかったことは心残りですが、当日は、全校をあげてお祝いし、心に残る卒業式で今年度を締めくくりたいと思っています。来年度もよろしく願いいたします。

3月の予定

1日(火) 都立一次発表	11日(金) 中央委員会(左枠下より続く)
3日(木) 専門委員会	14日(月) 校内演奏会⑥(ヴァルディ合奏団)
4日(金) 卒業遠足3年	15日(火) 卒業式予行③④ 都立二次発表
8日(火) 美術館鑑賞3年 三年生を送る会⑥	18日(金) 第74回卒業式
9日(水) 都立二次入試 国際協力出前講座3年	23日(水) 避難訓練(集団下校訓練)
10日(木) みなと科学館見学3年 遠足1年	24日(木) 保護者会(1・2年)
11日(金) 百人一首大会③④ オリパラ講演会⑤⑥	25日(金) 修了式 大掃除

3月の生活目標 「1年間の締めくくりをしよう」

～1年間の成果と課題を振り返り、新年度の準備をする～



防災標語コンクールの作品を紹介します

1年生の夏休みの宿題であり、東京都教育委員会主催の防災標語コンクールに参加していましたが本校代表作品として、以下が選ばれました。

『常に見る もしものための 避難所を』 U.Mさん
幟（のぼり）になっているので、玄関に2本分、置かれています。

令和5年度からの新標準服について在校生の意見を聞きました 2/28(月)

1月中旬に、業者3社によるプレゼンテーションが委員会のメンバーの前で行われました。その中で候補を絞り、在校生の意見も参考にするために、投票が行われました。現在の在校生は着用することはできませんが、新しく令和5年度以降に入学してくる下級生のために、一人ひとりがベストな一着を選んでくれています。



赤小と赤中をつなぐ「上空通路」の架設工事が無事に終わりました 2/26(土)夜

2月26日(土) 21時過ぎに赤坂通りが通行止めとなり、22時から移動の作業が始まりました。上空通路自体が巨大なため他所で作って運搬することができず、赤中工事現場の端で組み立てられておりました。その通路となる「骨組み」を持ち上げ、移動させる大型クレーンも現場で組立てられ、作業後は分解されるという大がかりなものでした。「ゆっくり、ゆっくり」と移動しながら、最後は橋脚の上に見事に載せられました。



現場監督さんによると「今晚が雨や雪でも構わない。風だけは弱いことを祈っていました」とのことでした。新築校舎の壁ギリギリのところを上手く吊り上げ、移動しました。「この3年間は今日のためにやってきたようなものです」と感慨深げに語ってくれました。この夜は仮留めをし、週明けに溶接の固定作業となるようです。人が自由に行き来できるのはまだ先となります。

以下は校舎内の写真で2月17日の撮影です。〈詳細は赤坂中学校ホームページとツイッターをご覧ください〉



2階の玄関フロアの小5の教室



体育館の正面を望む



屋上から新旧の中之町幼稚園